

情報職採用

和歌山県警察職員

和歌山県警察では、情報職として採用された8人の職員がICTを生かしたフィールドで活躍し、この8人と一般職採用の警察職員がタッグを組んで、様々な警察活動を支援しています。

主な仕事の内容

○ 企画立案

現在の日本社会においては、生活の大部分でデジタル化、いわゆるDX（デジタル・トランスフォーメーション）が進んでいるところで、日本政府においても、デジタル庁の設置以降、デジタル社会への変革を急速に進めています。

県警察においてもDX推進のため、AI等の先端テクノロジー導入に向けた企画立案を行っています。

○ インフラ整備

今やコンピュータやネットワークは、警察に欠かすことのできないインフラになりました。

日進月歩のサーバやネットワークの性能・機能を調査し、機器の調達を行っています。

○ システム開発

県警察では、犯罪情報分析や交通事故情報分析のシステム、サイバー犯罪に対処するための資機材などを多数整備しています。

システム構築に際しては、県警察の様々な重要セクションの職員と協議を重ね、システムの設計から導入に至るまでを支援しています。

先輩からのメッセージ #1



木田技師(係長)

令和2年度採用

経歴

- ・大学卒業後、民間企業で勤務
- ・警察職員として採用

和歌山県警察の情報職の仕事は、システム開発や情報インフラの整備を通じて、地域の安心・安全を支える警察活動に貢献ができる仕事です。

民間経験の有無にかかわらず、自身のITスキルを活かして地域に貢献したいという方は、ぜひ一緒に働きましょう。

1日の仕事の流れ

9:00	12:00	13:00	17:45
出勤 ・メールチェック ・サーバ点検	休憩	・仕様書作成 ・システムの設定変更 ・職員からの問い合わせ対応	退勤



主な仕事の内容

私は現在、和歌山県の警察本部と警察署等を結ぶ通信ネットワークや職員が日常的に利用する端末、それらを管理するためのサーバ等というような県警察の情報インフラの整備・運用管理に関する業務を担当しています。

整備・運用管理と一口に言っても、機器を調達するための事務作業から機器の設定、警察署や交番等に赴いての現地設置作業、職員からの問い合わせ対応まで多岐にわたります。業務で求められる知識が広範囲であり、かつ情報技術は常に進化していくため、日々勉強を重ねながら取り組んでいます。

情報インフラは、今や警察活動の基盤そのものであり、それを安定的に運用していくことに大きな責任を感じますが、この仕事は警察全体の効率化につながっていることから、非常にやりがいを感じています。

和歌山県警察
公式アカウント
Instagram



先輩からのメッセージ #2

山本技師(主事)

令和3年度採用

経歴

- ・大学卒業後、民間企業で勤務
- ・警察職員として採用

情報職の採用となると、情報技術に関する知識や経験が必要だと思われるかもしれません。しかし、実務未経験の方でもOJTや民間企業での技術研修に加えて、警察組織内の技術研修など学ぶための環境は充実しています。プログラミングやDXといった情報技術に興味がある方は是非チャレンジしてください。情報技術を通じて一緒に和歌山県警察を盛り上げていきましょう。



1日の仕事の流れ

9:00	12:00	13:00	17:45
出勤 ・メールチェック ・システム点検	休憩	・システム開発進捗管理 ・委託事業者との打ち合わせ	退勤



主な仕事の内容

私は現在、警察活動で必要となる様々なシステムの開発・運用に携わっています。採用後の1年目は、システムの運用・保守の業務を担当し、警察活動を支えるシステム全体の基礎を学びました。

2年目は、システムの運用・保守に加えてシステムの改修や簡易的なツールの開発に携わり、プログラミングの知識について学びました。

3年目以降は、情報管理課において発足したシステム開発のプロジェクト要員としてシステムの設計や実装といった各工程に携わり、システム開発における様々な技術について学んでいます。

また、近年は警察組織全体でDXによる業務改革に取り組んでいます。情報管理課では、警察活動の業務効率化に向けて、先進技術の導入やシステムの連携強化・最適化に取り組んでいます。

和歌山県警察
公式アカウント
YouTube



求められるスキル

第一次試験に合格する知識があれば大丈夫です。

資格、経験は問いません。

採用後は、OJTや企業研修のほか、警察大学校附属情報通信学校(東京都府中市)で研修を受けるなど、定期的にスキルアップの機会が設けられています。

採用試験の受験を検討している皆さんへ

DXは、県警察においても重要な課題と位置付けており、DXを一層推し進めるために、令和7年4月からDX推進係を新設し体制の強化を図ります。

県警察の業務は多岐にわたり、業務のDX推進には、技術的知識(デジタルリテラシー)のみならず、新たな発想・考え方が必要となります。

この新たな発想・考え方が、業務のイノベーションを生む大きな要素となります。

そのためには、過去の業務に縛られない、新たな発想・考え方を組織に取り入れることが必要です。

県警察では、官民の技術研修を生かした人材育成にも力を入れており、自己の成長を実感できる職場となっています。

我々は、共に働き、組織に新たな発想・考え方という新しい風を吹かせてくれる、意欲ある人材を待っています。

情報職の仕事の内容は概ねわかりいただけたと思いますが、給与、福利厚生、ワークライフバランス、和歌山の住みやすさについても重要な関心事項だと思います。

県警ホームページ(右のQRコード又は以下のURL
<https://www.police.pref.wakayama.lg.jp/recruit/>)
から、採用案内パンフレットをご覧ください。

